

# Tuuli

トゥーリ 2010年11月15日発行

11月中頃の暖かい天候を表すのに「小春日和」という言葉があります。まるで春のような穏やかな天候をそう呼びます。英語にも似たような表現があります。「インディアンサマー（インディアンの夏）」といいます。語源はいろいろあるそうですが、冬になる前の暖かく穏やかな日に、インディアンたちが冬支度をしたことからそう呼ばれ、「神からの祝福」とみなされていたそうです。自然の祝福に感謝し、元気にこの美しい秋を過ごしたいものです。



## ボランティア活動報告会のお知らせ



前号でもご紹介いたしました。ボランティアさんと利用者のご家族にご参加いただき、活動報告会を持ちます。楽しい交流会にしたいと思っております。是非ご参加ください。

日時：平成22年11月19日（金）14:00～15:00  
場所：センター4階 研修室  
内容：ボランティア活動の発表・懇親会

◆参加ご希望の方はボランティアコーナーまでどうぞ。



## お餅つきボランティアさん募集のお知らせ



毎年恒例になりましたお餅つきの募集です。ケヤキ広場でお餅つきを行います。お餅つきの行事をご一緒にお楽しみください。

日時：12月3日（金）10:00～11:30  
場所：けやき広場  
募集：①餅のつき手 ②餅の返し手 ③餅の運び手 ④利用者の送迎・誘導等

特養各フロアの利用者のみなさんが楽しみになさっています。どうぞお力をお貸しください。



## 松井バイオリン教室コンサートのお知らせ



クリスマスを前に、松井音楽教室のみなさんがバイオリンの演奏に来てくださいます。楽しいコンサートになりそうです。

日時：12月11日（土）14:00～14:45  
場所：錦本館 センター2階 ホール

◆毎回大勢の特養の利用者の皆さんが参加します。送迎のボランティアさんのお力が必要です。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 本のご紹介



橋本正明ホーム長より、皆様方に、読んでいただきたい本をご紹介します。

題 目 : 「平穏死」のすすめ ～口から食べられなくなったらどうしますか～

著 者 : 石飛 幸三 (講談社)



延命治療の限界、安らかな「看取り」を特別養護老人ホームの常勤配属医が提言します。著者の石飛先生は、特養で常勤配属医として働く医師です。特養に入所する高齢者の方の死を通して、日本における病気を持つ方の最期について様々な示唆を提示してくれる本です。私や家族が、「経鼻経管栄養や胃ろう (PEG)」で無理に生かされるとしたら・・・。

至誠ホームでは「天寿を全うするケアとは」を大きなテーマとして実践、学びに取り組んでいます。この本のサブタイトルは、「口から食べられなくなったらどうするか」です。人間らしい、その人らしい逝き方とは？誤嚥性の肺炎や口腔ケアの大切さも考えさせられます。関係者のすべての方に問いかける本です。皆さん是非、ご一読を！

(至誠ホーム長 橋本 正明)



## ロータリークラブ功労者受賞



東京立川ロータリークラブによる「優良職業人ならびに社会奉仕功労者」に、至誠ホームから2名、1グループの方が受賞なさいました。

昭和49年から36年間、マーガレットクラブ、英語クラブ、器楽賛美歌クラブの指導で、利用者の生きがいづくりや国際交流にご尽力いただいている橋本ライヤさんと、昭和54年から31年間、至誠ホームでの朗読活動をして下さっている立川市朗読サークル「こえ」さん、その「こえ」の一番古くからのメンバーとしてキートスで朗読活動をして下さっている柴田きよ子さんです。誠におめでとうございました。

そしてどうぞこれからも、よろしく願いいたします。



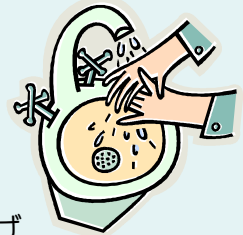
## 感染症の対応について



今年もまた、風邪などの感染症の対策の必要な時期となりました。

もし、利用者に下痢、嘔吐など、ノロと疑われる症状が発生した場合は、現場で感染を広げないために以下の対応を行います。

- ①他のフロアー、あるいは他の建物への移動を中止する。
- ②朝の体操に関しては、各所、各フロアで行うことにする。
- ③クラブ活動を行う場合は、参加するフロアを限定する。
- ④クラブ活動自体を中止する などが考えられます。



それらの対策が決定し次第、ボランティアさんには電話で連絡を差し上げ、お知らせいたします。活動中はマスクを着用いただき、1ケア、1手洗い、そしてうがいの徹底をお願いいたします。ボランティアの皆様方もご自分の体調管理をどうぞよろしくお願いいたします。



## 秋の交通安全運動への取り組み



先日、残念なことに至誠ホーム内にて、人と車が接触する事故が発生しました。今回、幸いにも大けがには至らずに済みました。

至誠ホームでは、このことを自分自身の運転方法を見直す機会としてとらえ、“秋の交通安全運動”として職員研修会等、啓蒙活動に取り組んでいます。

ホームの敷地内はいろいろな車が入り出します。ボランティアの皆様もどうぞ十分にお気をつけくださいますよう、お願いいたします。